

JISA 版 NTC (National Training Center) プロジェクト報告 ～群馬県をフィールドに課題探索・解決プログラムがはじまりました～

JISA では、昨年につづきデジタル変革をリードし、価値を創造できるトップレベルの IT エンジニアを育成する「JISA 版 NTC プロジェクト」に取り組んでいる。本年度は、15名のエンジニアが参加し6月からデザイン思考やデータサイエンスなどといった先端技術について大学院レベルの講義を受けている。

7月5日からは、3名1チームとなり群馬県の社会課題の解決を目指す「課題探索・解決プログラム」が、県庁32階の官民共創スペース「Netsugen」で始まった。本年度は課題領域を「地域交通・モビリティ」とし、本分野のデジタル化の現状などを県職員から聞き取り、課題の本質や改善すべき点などを探った。

プログラムの開会式では、JISA 福永会長は「各チームが設定した群馬県の課題解決をすることも重要だが、それ以上に、社会があるべく方向を指し示すような提案を期待している」と激励があった。宇留賀副知事は「今回は地域交通・モビリティといった課題領域を提示させていただいた。我々としても新しいサービス、アイデアを求めているが、全国の地方都市を変えてくれるサービスが出てくればありがたい」と、また、松田人材委員長からは「今回のプロジェクトは自分で考えて、失敗してということを繰り返すことが重要。ぜひ、テーマも含め試行錯誤しながら3か月間取り組んでほしい」とあった。

受講生は現地ヒアリングや議論を続け、課題解決に必要な施策を検討し、10月に発表する予定。

(大原)

